

国語(その一)

(注意 解答はすべて解答用紙に書くこと)

Ⅰ 次の文章を読んで、以下の問い(問一～問八)に答えなさい。

枠内については、許諾の都合により、文章と問題の掲載を省略します。

国語（その二）

（注意）解答はすべて解答用紙に書くこと

枠内については、許諾の都合により、文章と問題の掲載を省略します。

国語（その三）

（注意 解答はすべて解答用紙に書くこと）

枠内については、許諾の都合により、文章と問題の掲載を省略します。

国語(その四)

(注意 解答はすべて解答用紙に書くこと)

注 四聖諦(しよふたいしだい)ともいう。釈迦が自身の悟った内容を四つの真理に分けて説いたもの。苦諦(くたい)「人間は苦であるという真理」、集諦(じつたい)「苦の原因は欲望であるという真理」、滅諦(めつたい)「欲望を減することが苦をなくすことであるという真理」、道諦(どうたい)「欲望を減するための実践についての真理」をいう。

問一 (ア) (シ) の傍線部のうち、カタカナは常用漢字に改め、漢字の読みはひらがなを用いて、それぞれ解答欄に記入しなさい。

問二 傍線部(一)「コインの裏面にあたるようなモメント」を端的に言い換えた表現を、本文中から九文字で抜き出し、解答欄に記入しなさい。

問三 空欄「①」に入るべき、最も適当な語を、本文中から一文字で抜き出し、解答欄に記入しなさい。

問四 傍線部(二)「この逆説は厄介でうつとうしい」と筆者が考える理由として、最も適当なものを、次の①～⑤から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 他人の存在を迷惑に感じながら、その相手を支えなければならぬ場合は「絆」ではなく「束縛」になるから。
- ② 他人に「迷惑をかけるなら、何もしてはならない」ということになれば、人前で息をすることも許されなくなるから。
- ③ 人間が互いに迷惑をかけ合うことと、互いに支え合い「絆」を深めることは切り離せないものだから。
- ④ ある教団や共同体の内部者に「絆」が生まれたとしても、外部者の目には、それが「強制」「洗脳」の結果と映る場合があるから。
- ⑤ 私たちが他人にしてあげたいことと、他人が私たちに求めていることは必ずしも一致しないから。

問五 傍線部(三)「生きている人間たちの手だけ」に対するものは何か。本文のことばを用いて、十～十四文字で答えなさい。

問六 傍線部(四)『生きている私』『絆を結ぶ私』という感覚を完全に失ったとき」とあるが、それぞれの『内のことばは、本文の内容に合わないものである。これらを、それぞれ解答欄に指定された文字数で、本文の内容に合致した表現に書き改めなさい。

国語(その五)

(注意 解答はすべて解答用紙に書くこと)

問七 傍線部(五)「答えの絶望ぶり」の理由を具体的に述べている、最も適当な箇所を、本文中から三十四文字で抜き出し、解答欄に記入しなさい。

問八 以下に示す①～④は、問題文の内容に合致しているか。合致していれば○、合致していなければ×を、それぞれ解答欄に記入しなさい。

- ①「縁」は近年、個人の主体・自己・自我などの存在を前提に語られるようになったことばである。
- ②自律化を重視する立場が、傲慢な人間中心主義を批判するのに対して、脱自化を重視する立場は、前者の立場が近代が築き上げた個人の責任や尊厳を無効にすると主張する。
- ③「絆」を通して宗教の姿をかいま見ようとするならば、脱自化した個人が他者との関係で主体的な力を昂揚させ、また一方では自我に執着しがちな人の性向を自律化していくという宗教のダイナミックな働きを的確にとらえ、同時に、その働きをどのように生かしていったらよいかという課題に挑まなければならない。
- ④社会的劣位におかれてきた人々には、宗教の働きのうち、脱自化が抑圧として働いてしまう場合が多いことが強調されねばならず、自律の力を発揮した主体性の獲得が重要となる。

Ⅱ 次の文章は『十訓抄』において、藤原成通の蹴鞠の才能を述べた内容である。これについて、以下の問い(問一～問五)に答えなさい。

成通卿、年ごろ鞠を好み給ひけり。その徳やいたりに(A)けめ、ある年の春、鞠の精、懸りの柳の枝にあらはれて見えけり。みづら^{注1}結ひたる小児、十三ばかりにて、青色の唐装束して、いみじくうつくしげにぞあり(B)けり。なにことをも始むとならば、底をきはめて、(C)かやうのしるしをもあらはすばかりにぞ、せまほしけれど、かかるためし、いとありがたし。

されば、

(D)学ぶ者は牛毛のいとし。得る者は麟角^{注2}のいとし

ともあり。

また、

することかたきにあらす。(E)よくすることのかたきなり

ともいへる。(F)げにもとおぼゆるためしありけり。

※『十訓抄』より引用。適宜ふりがなを付した。

注1 みづら…平安時代の少年の髪型。髪を中央で分け、両耳のあたりで束ねたもの。

2 麟角…麒麟の角。麒麟は想像上の神獣。

国語（その六）

（注意 解答はすべて解答用紙に書くこと）

問一 傍線部（A）「けめ」、傍線部（B）「けり」の文法的誤りを正しく書き改め、それぞれ解答欄に記しなさい。

問二 傍線部（C）「かやうのしるし」は、具体的に何をさすか。本文中から二十文字で抜き出し、解答欄に記入しなさい。

問三 傍線部（D）「学ぶ者は牛毛のごとし」とは、具体的にどのような意味であるか。以下に示す①～⑤のうち、最も適当なものを一つ選び、解答欄に記入しなさい。

- ①学ぼうとする者は、牛の毛のように数が多い。
- ②学ぼうとする者は、牛の毛のように真っ直ぐであるべきだ。
- ③学ぼうとする者の思考は、牛の毛のように柔軟だ。
- ④学ぼうとする者の意思は、牛の毛のように強い。
- ⑤学ぼうとする者の心は、牛の毛のように細やかだ。

問四 傍線部（E）「よくすることのかたきなり」は、成通卿のどのような姿勢にあてはまることばであるか。以下に示す①～⑤のうち、最も適当なものを一つ選び、解答欄に記入しなさい。

- ①成通卿が蹴鞠を大そう好み、美しい子供と一緒に練習に励んだ姿。
- ②成通卿が蹴鞠を好み、人々に技を教えて徳を積んだ姿。
- ③成通卿が蹴鞠を好み、その結果、奥義を極めるに至った姿勢。
- ④成通が蹴鞠の奥義を極め、天皇から唐装束を賜るまでに成長した姿。
- ⑤成通卿が「何事も始めるならば、奥を極めるべきだ」と述べた姿。

問五 傍線部（F）「げにも」は、どのような意味で用いられているか。その内容として最も適当なものを、以下に示す①～⑤から一つ選び、解答欄に記入しなさい。

- ①驚くべきことだ
- ②あてにならない
- ③素晴らしい
- ④その通りだ
- ⑤勘違いだ

I

問一	ア	たくいつ	イ	きひ	ウ	徹底
	エ	あやつる	オ	かかげる	カ	占拠
	キ	予期	ク	崩して	ケ	いどんで
	コ	きも	サ	たずさえて	シ	境遇
問二	相反するような作用					
問三	綱					
問四	③					

問五

人智を超えるとされた意味や力

(複数回答を認める)

問六

誤 生きている私

↓

正 生かされている私

(七文字)

問七

誤 絆を結ぶ私

↓

正 絆でに結ばれている私

(八文字)

長い人類史のなかで、	そんなユートピア
アが実現できたことは	一度もなかった

問八

① ×

② ×

③ ×

II

問一

A けむ／けん

B ける

問二

えけり	鞠の精、	懸りの柳の枝にあらはれて見
-----	------	---------------

問三

①

問四

③

問五

④

合計	※

II	※

I	※